

会 議 録

件 名	未就学児の保護者説明会・意見交換会（第2回）
日 時	令和7年2月23日（日）午前10時05分から午後0時05分まで 令和7年2月23日（日）午後2時00分から午後3時30分まで
場 所	福祉センター 3階 大ホール
参加者	（午前）参加者 14名 今田教育長、簀下委員、中下委員、岡教育部長、阪口参事、 丸山教育総務課長、東学校再編推進係長、東川、中山 （午後）参加者 7名 今田教育長、田中委員、簀下委員、岡教育部長、阪口参事、 丸山教育総務課長、大谷学校教育課長、東学校再編推進係長、東川、中山

教育長挨拶、資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。

なお、出席した保護者には、資料と合わせて、意見等を記入できる二次元コードを用意しました。欠席した保護者にも二次元コードにて、資料を閲覧、意見等を記入できるよう準備しました。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1-1. 意見を聞いていただけるということで参加させていただきました。ありがとうございます。基本的には再編統合は賛成してまして、いろいろ調整大変と思うんですけども、またよろしく願いいたします。自分も関わってくるところ、ちょっと聞きたいなと思います。西部小学校区なんで、橋本中央中学校区なんですけども、橋本小学校に統合するとなると教室数が足りない。その分、予算もいることなんですけども。西部小学校も1クラスなんで、単純に考えると学文路小、清水小と西部小をがっちゃんこしたら、教室数も足りるんじゃないかな。わざわざ教室をプラスで作らなくても、3つ合同でできるんじゃないかなっていうのがすごく素人ながら思いました。それはできないんでしょうかという質問です。もう1点が、スクールバスのとこなんですけども、これもすごく個人的なことで申し訳ないけど、自分ところは、学文路小が実は近いんですよね。なおさら、それだったら、がっちゃんこしてくれた方が、バス乗せてくれるしいいなというのが正直な意見で申し訳ないですけど。子供のことを考えると、「再編統合により通学場所が変わる児童生徒」が、個人的には要らない。子供のことを考えるのであれば、再編統合とは関係ないんですけども、子供の負担を考えるのであれば小学生の場合2kmを超える児童としてくれたら、ありがたいと思います。もし、これが条件なんであれば、単純に橋本小学校クラス数、新たに作らなあかんのが現状だったら、単純に学文路小、清水小と西部小ががっちゃんこしたらいいやん。

部屋足りるんちゃうんですかと思いました。以上2点です。

(教育委員会)

まず1点目のところなんですけど、当初、学文路小と清水小を再編させてもらって、次に2段階で橋本小と考えてたんですけど、どうしても、子供さんに2回再編という負担をかけるのが大きいという意見もありまして、見直してこのような案を出させていただきました。今のところ西部小学校は、資料17ページもあるんですけど、緩やかに児童数は減っていく推計なんですけども、一定のクラス規模は、この2期方針の間で確保できるだろうということで、今回4校ではありません。キャパに関しましては、橋本小で、学文路小と清水小でも現状の校舎ではちょっと足りません。それは通常学級以外にも、少人数学級とかのクラスも必要となってきますので、それなりのキャパを考えたら、この3校であってもスペースが足りませんので、そういった形で教室の数を増やすことを考えていくことになるんです。学文路小、清水小と橋本小ではなく、学文路小、清水小と西部小という形になりますと、この構想と全然違う方向になりまして、今のところ、その考えは持っていないのが正直なところです。

2点目のスクールバスの対象については、一応再編で、今よりも学校が遠くなってしまうお子様がいますので、そういった場合に、子供の負担を少しでも軽減させてもらうことで、通学支援2キロ程度となんですけど、そういった形で路線バスかスクールバスを利用してもらえるような形で考えているところが基本ラインになっています。西部小学校につきましては、2期の間は、今のところ対象になっていないということでご理解いただけたらありがたいです。

(教育長)

スクールバスのことについて、ご提案いただいた内容については、市議会の中でもそういった質問を受けたことがございます。再編対象になってる学校については、そういう条件を緩和して取り組みます。対象になってない学校については緩和されなかったら、差が出てくるのではないかというご意見からです。今は、再編対象を担ってるところで条件緩和して、少しでも負担軽減を図っていきたいということで提案させていただいてるんですが、この再編が進んでくると、橋本市全体でも考えていく必要が出てくる時期があると思うんです。ですから、再編とは別の枠組みの中で、市内全体でどうするかということの中で、考えをまとめていかなければならない時期が来るということで、私たちも認識はしているんですけども、再編が進んできた中でそこは考えていきたいと思っております。課題意識としては持っておるところです。

1-2. 聞き逃してたらすいません。橋本小学校に統合したら、教室数が足らなくなるのは、もちろんわかります。西部小、学文路小と清水小で、がっちゃんこしたら、それは検討してないからですか。教室が足らなくなるんですか。

(教育委員会)

通常学級と特別支援学級を勘案しますと教室数が足りないです。

1-3. それは、橋本小にまとめた場合に足らなくなる教室数と、学文路小、西部小と清水小をがっちゃんこした場合、例えば、学文路小にまとめたとします。その差とかは検証されてるんですか。何室足らなく、橋本小やったら何室足りない。学文路小なら何室足りない。その段階も検討とかも全然まだ。こっから覆ることはないもんなんですか。

この推計を見ても、なんでこの3校が、がっちゃんこしないかなとすごく素人ながら思うんです。令和6年の列だけで見ると橋本小は245で、学文路小・清水小・西部小が250ぐらいになりますよね。これは僕が西部小やからだけかもしれないですけど、ごめんなさい、こだわって。教室1クラス作るとなっても、すごいお金かかると思うんで、そんな既存校舎のある分でやったほうが、それは予算的にもいいだろうと思います。

(教育委員会)

ちょっとお時間いただいていいですか。後程お答えさせていただきます。

2-1. 娘が年長で、来年、恋野小学校に行く予定ではあるのですが、今数えても4人しかいません。恋野小学校に行く人数が。この話を聞かせていただいて、うちの子供の下からが選択制になると伺ってます。それで、もう廃校になるのをわかってるにもかかわらず、なぜ恋野小学校に行かせないといけないのかというのが親としての考えです。橋本市の学校に対しての取組、資料9ページのグループ学習だったりとかができないじゃないのかな。

今、実際1年生も1人という、そういう中で、実際子供に聞いたら、やっぱり人数多い方がいい。人数多い方がよくて、それやったら隅田小学校に1年生から行きたいってなると、親としては、ちょっと住所変えてでも隅田小学校に行かせようと思うんですね。

今、そういった状況なので、令和9年から選択制にするのではなく、もう来年入学する時点で選択制にしていだけないかという気持ちが、その4人と話しした中での考えだったので、それをお伝えしたいと思いました。

(教育委員会)

今回の進め方なんですけども、統廃合と学校再編というページがあったと思うんですけど、単なる恋野小学校と隅田小学校をくっつけるという考え方じゃなく、規模の大小はあるにしても、新しい学校を作っていく観点で、互いに引き継いで新しい学校を作っていくという観点があるんです。そうなりますと、やっぱり2、3年ぐらいかかるんですよ。引っ越ししたらええやないかって言うだけじゃなく、その通学のことであったり、学校のカリキュラムだったり、どういったことをやっていくかということに対して、例えば、校歌も統合準備会で作るうかっていう話になったら、作詞作曲から入らないといけませんし、そういったことになるとやっぱり2、3年かかるんです。来年からという形になると、本当に恋野小学校のクラスの子も1人か2人なって、そこのことも考えていかなあかんというのがあるんで

す。一旦は、最短で今、令和10年という形でさせてもらってるんですけど、1年前の1年生だけ、やっぱり年長から上がって、もう来年中に変わるのがわかっるとるんで、また変わっていうのもすごい見えてくるんで、その部分は親御さんにお考えいただくように考えています。来年からの恋野小学校のこともやっぱりあるんで。原則では、このラインで考えているというところですよ。

2-2. 再編統合ですか、これに関しては何とも思っていないんです。どっちの小学校も全員で新しい学校の建物に移動するんやったらわかりますけど、校歌が変わろうが、学校名が変わろうが、そこは求めてないです。もう無くなるであろう学校にわざわざ入れて、ましてその4人はみんな女の子です。となると、やっぱり女の子って難しくって、そのために子供を近くの保育園に入れて友達をいっぱい作ろうとか、0歳1歳児から先のことを考えて、結構そういうふうにしてる方とかもいるので、また、その1年2年が結構やっぱりおっさくって、友達関係、人間関係のそういうところに関して、将来、子供のことを考えると、という思いです。

(教育委員会)

今、お母さんのようなお考えというのは初めて聞かせてもらった、ストレートに来てくれた言葉なんで、ちょっと表現は別として、もしかしたら、すみだこども園でお友達の関係ができ上がってるんですか。

2-3. そうです。

(教育委員会)

恋野地区のお子さんで言えば、年中年長を1号認定で取得されたら、すみだこども園は2クラスですよ。クラス替えできるわくわく感とかあって、そういうのは伺ってるんです。小学校へ上がったなら少人数になるのが見えてるからというところもあるかと思うんですけど、率直なご意見聞かしてもらいましたんで、意見として承りたいと思います。今すぐこうと言えない感じなんですけど、ご意見を初めていただいたんで、ありがとうございます。

(教育委員会)

先ほど、西部小学校の方から校舎のことでご質問いただいたところです。教室数ですけども、通常学級と特別支援学級で、理科室とか音楽室ではなく通常の授業を行う普通教室については、橋本小学校が14教室あります。西部小学校については12教室になっています。今回、橋本小学校の増築ということで、増築プラス、既存の校舎の改修も考えてまして、改修の部分で、およそ大体部屋数が2から3プラス増築で、5から7教室になっています。今、西部小学校については、その改修する部分もスペースが無いところになるので、橋本小学校と西部小学校を同じ人数は入れると考えたときの必要な改修は、ちょっと差が出てくるというような状況です。

3. いろいろ検討していただいて、一番合理的な話をさせていただけたらと思うんですけど。さっきのお話の中でも、もうすごく思ったのが、3年ぐらいかかりますよというのが、何ですかね、もう子供のことを第1に考えてあげて欲しくてですね、なんか地域がどうのこうのとか、学校名とか、制服とか、なんでもいいと思ってまして。それよりも子供のことを考えて、より早くやってあげたほうがいいと思って。今回、目標年度が変わったっていうのはお便りでいただいたんですけど、その理由も書いてなかったんで、それも聞きたいなと思ったんです。なんで延長したんか、何か地元の声が大きかった、どうのこうのとかあるんちゃうかなとか勝手に憶測で思っちゃったんです。例えば、さっきの再編統合するからじゃなくて、子供のことを考えて2キロとか、なんて言うんすかね、もうちょっとでも早く統合してあげて、そんなクラス4人よりも、多分20人とか30人とか、2クラスであった方がいいと思うんです。もっともっと、むしろ前倒ししてやってあげる。それで、何で延期なったんかなって思った。その理由がちよっとわからなかったんですけど、やったって欲しいです。西部小と学文路小、清水小の今の説明では、あんまり腑に落ちないというか、清水小は何クラスなんですかとか、学文路は何クラス何教室あるんですか。全部ちゃんと出し切っても、橋本小の方が望ましいというのであれば、もうそれはもちろん従います。何ていうんですかね、再編統合だからバス、確か今キャンプ場の信太小も大分前に統合してるけども、あの子らもバスになるんですかと思うんですよ。何ていうんすかね、これを実行するにあたってだけで考えるんじゃなくて、子供のことを考えて諸々合理的に判断して欲しいです。

(教育委員会)

一応、学文路小と清水小の教室数もお伝えします。学文路小学校が、先ほど言った普通教室で8教室になってます。あと清水小学校は7教室で、学校ごとに施設の大きさがちょっと差があって、学文路小学校・清水小学校などは、基本1つの学年で1つのクラスが想定されているような学校の規模になってます。あと橋本中央中学校区の再編統合が延びたというところの理由のところ、ちょっと説明でも触れさせていただいたんですけども、教室の改修の期間におよそ3年から4年掛かってくるところがあるので、子供たちに来てもらっても教室が足りないという状況があるので、その改修等の期間を踏まえて再編時期については見直されたというようなところです。

4. 恋野小学校に入学するもので、先ほど話していただいた方と同級生です。さっきの方の話と同じなんですけど、グループ活動で、4人一緒の同級生がいるんですけど、グループ活動、グループでの学習、あと集団行動ができないとか、さっき言ってた目指す子供像にちょっと当てはまってなく、人数が少な過ぎてちょっと心配しているんです。子供に聞いたら、やっぱり友達が多い方に行きたいと言ってるのと、あと隅田小に行きたいというのを言っています。親はもちろんですけど、子供にも今からそんな心配しなくていいはずのことを、統合して隅田小に行くというので心配な思いとか不安とかそういう気持ちを何も心配しな

くていいはずのことを、そういうふうな気持ちにさせてしまうのも嫌です。もう入学して卒業できないのがわかっているのであれば、最初から選択制にしてもらって、入学する学校を選ぶようにして欲しいと思います。あと、きょうだいがいるんですけど、今、恋野小学校に在学中で、6年生で統合するタイミングになるんです。やっぱり小学校一緒のほうがいいのかと考えたんです。1人の子供として見たときに、やっぱり集団で普通に過ごした方がいいと思うので、選択制という形にして欲しいです。

(教育委員会)

あとの方の話なんですけど、ごきょうだいは必ずしも一緒の学校にというのではなく、子供たちの関係性であったり、子供の年齢差とかでいろいろあるかと思うんで、そこは保護者さんのご意向に沿う形になると思うんです。前半部分ですが、今日はお隣のお母さんからもご意見いただいたんで、ここでこうしますということはできないですが、ご意見いただいたということで承らせてください。

5. 今回の説明会等で、地域の方にされているところにも行かせていただいた者です。子供が学文路小学校に行く地域で住んでいる保護者です。もう学文路小学校も、とても少なくとも1人2人とかで、娘の学年ではそうなるかなあと考えているところで、学文路小学校は、橋本市が思っておられる学習で目指されているところを思うと、自分もですけれども、やっぱりけんかもさせて楽しいこともしてと思うと、たくさん的人数の中でさせてやりたいと思っています。地域の方の意見もたくさん聞くと、なかなかそこでは意見が出せなかったんですけども、地域は地域でたくさん守っておられる、そこに残したいものもあるんだらうなと思うのと、たくさん的人数の中で学ばせてやりたい保護者もおれば、少ない人数の方がいいと思われる方もいるんじゃないかなあと考えたときに、なんて言うんですか、延期するのではなくて、西部小学校区の方も意見を言われてたと思うんですけども、どこかの学校と学校がいきなり一緒にするのではなくても、1日の中の午前中の授業だけでもバスを行き来させて必ず交流をすとか、学校の中身のところを検討していただけることはできないのかなという。日常の中で、学文路小学校と清水小学校が必ず運動会を一緒にすとか、なんかそういった取組をしていただけるだけでも、子供は関われるのかなあと思うので、できればもう橋本小学校、言われてるどこでもいいんですけども、たくさん的人数でさせてあげてほしい。皆さんと一緒に思うんですけども、そう思ったときに、選択制も言われてましたけれども、学校区はすごく大きいなと思うんですけども、それが少し選べる。これは国とかの規則もあるんだらうなと思うんですけども、選べるところができたら、保護者はすごくありがたいんじゃないかなあというのを、とても思います。いろんな意見を聞くと、これを1つにしていくのは難しいことかなと思うんです。親としては、今、この学文路小学校で行くと、自分の娘のときの6年生のときに合併になります。それまでは、1人2人の教室では何も学べないかなあと思うので、そこがすごく辛いなと思っています。よろしくお願いします。

(教育委員会)

前半の部分なのですが、資料 33 ページにも書かせてもらってるんですけど、対象校間の交流を再編統合までの間に、それは考えていきたいと思います。具体的に、例えば遠足とか一緒に行くとか、オンラインにするとかありますが、具体的なことは言えないんです。いきなり学校再編して、クラス編制こうなりますよという形で持っていく考えはございません。徐々にお友達の関係であったり、すり合わせを行った形で、事前の子供たちの、そういう出合いの場を考えていきたいと思います。

後半部分で、どうしても、先ほどの方もそうなのですが、資料 9 ページの左側に書いてある絵の学習環境のところでも出てきたんですが、そういったご意見を複数いただいておりますので、今までの説明会や意見交換で聞かれた内容とはちょっと、本当にリアルな話を直にもらっている状況でございますので、貴重なご意見として承りたいと思います。

6. 今日はありがとうございます。初めて再編統合の話を聞かせていただいて、自分の子供が今 1 年生で通ってるんですけども、どうなって無くなっていくんだなというのを知れてよかったです。いろいろ調整がすごい大変な中、本当にいろんなことがあると思うんですけども、変わっていくことを変えていくことについてはすごく賛成というか、もう必ずやらなきゃいけないことだと思うんです。人数の問題とか規模の問題とかで、結構どう集めるのか、そのままなのか、みたいなことでありますけども、これまでもご意見あったように子供が中心だと思うんです。だから、大人の都合もあると思うんですけども、いろんなものがあつた中でだと思っただけですけども、やっぱり一番の子供が優先すべきことなのかなと思うんです。けれども、ちょっと、これまでのご意見と毛色が変わるかと思うんですが、そもそも、未来をたくましくという子供の理想像はすごくいいなと思うんですけども、じゃあ何で人数が減ったらだめなのか。さっきのお話のあつた 1 人とか 2 人とかっていうと、寂しいのはあると思うんですけども、何でそれじゃだめなのか。30 人いないとだめなのか。20 人じゃだめなのか。たくさん子供がいて、たくさんフォローがあればいいと思うんですけども、たくさん子供がいるのに、教員の数が少ない、目が届かない、どこで何するかわからない。じゃなく、いや減ったら減ったなりに、そこで教員の数がもしかしたら調整があるかもしれないんですけども、児童の数が減って、教員 1 人が見る子供の数が減れば、その分厚いサービスが、僕ら保護者としては子供たちとして受けられるんじゃないのかなとも思ってしまうんです。

あとはスクールバス、統廃合すると、物理的に動くとなったら、動かさなきゃいけないので代わりの手段をとると思うんですけども、別に動かさずに、減ったら減ったでいいじゃないかと。少ないからできないことが、これからの時代はインターネットで繋がるんだから、授業、座ってする座学は、別に学校同士つなげばできる話だと思いますし、その方がコストが抑えられるのかなという気もするんです。どうしても集まらなきゃいけないこと、体を動かしたりとかっていうことは、もう学校訪ればいいと思うんですよね。その時にバスを使

えば、頻度もそのコストも下がったりコミュニケーションに不足することはないのかなっていうふうにも思ったりもします。その場所のことでいくと、保護者としてやっぱり危険を少しでもなくしてあげたいと思うんで、バスっていう意味では、安全には繋がると思うんですけども。日々の毎日、自分の足で歩いて学校に通って、何か見たりとか誰かと話したりとかで得られる経験も、その学校の教室のだけじゃない、特別な時間かな、石ころ蹴飛ばして帰ったりとか、つつじの蜜吸ったりとか、今の子しないのかもしれないですけど、そういう感性を大事にする。そのバスで行って着いて、勉強だけして帰ってくる。これ何にもならんのかなという気がして、その子供たち同士の関わりも必要だけでも、そこにいろんな外部の地域の要素があると思う。そういう観点も、ただのリスクととらえずに、ネガティブなことをポジティブに考えていきながら、地域のお金のこととか、子供の安全とか、ということを見てもらいたいです。

あと、長くなってすみません。やりようがあるんじゃないのかな。必ずしも統合して30人作らないといけないという考え方が、大人の考えが先に来てるんじゃないのかなっていうふうにも思ってしまうので、どうにか工夫できないのか。そこに何か上位の決め事があるとしたら、そこを変えていけないのか。日本一の子育ての街と掲げて横断幕も見てきましたけども、市役所にやってるのありましたけど。子育て世代のところがやっぱり大事やって思うんです。習ってやってたら日本一となれないと思うんで、こういう新しいことに挑戦していくということも必要なんじゃないのかなっていうふうに感じました。言いたいこと、言いつばなしですいません。よろしくお願いします。

(教育長)

先ほどからお話聞かせもらってる中で、私としてすごく嬉しいなと思ってることが1点あります。皆さんが、子供中心に考えてください。子供中心で考えていくことが大事ですよっていう意見を言っています。私たち教育委員会もいろんなご意見あるんです。地域は地域の意見で、保護者の方は保護者の方々の意見であります。けれども、私たちが今、提案させてもらっている中心に置いてるのは、子供にとって学ぶ環境はどういった形のものかということを中心に置いて、今の現状からどう変えることが子供にとって、これからの子供にとっていいんだろうかという、1つの答えとして提案させてもらっています。ですから、私たちの中にも中心にあるのは子供です。今、橋本市では、学校は子供を育てていくのは学校だけというのではなく、地域の人たちとともに、いろんな経験をさせてもらう中で、子供が自分たちの中だけで勉強するだけでは得られないものをいっぱい経験させてあげよう、そして自分がこんなふうにして社会と関わってるんだというようなことを実感できるような、そんな子供を育成していくのをみんなでやっていきたいと思います、という思いでやっています。それはなぜかという、昔のような知識だけ習得して、それが発揮できればよかったって時代ではないからです。今、先ほど言っていたお父さんの意見にもあったように、子供たちの感性は、日頃の登下校の中で養われる、すごくよくわかります。そんなこともすごく大事だと思います。ですから、今そういうことも、昔と比べ

て少なくなってきたて、ドアツードアでというのがあったりする中で減ってきてる。そこは、あえて学校の教育の中で作っていかなくとも思っているところ。子供たちの日頃の学びの中では、オンラインもあるんだけど、そうではなく、この授業中、休憩時間、登下校の時間も、その中で群れて子供たちがいろいろお互い感じ合える、そして自然とも触れ合える、地域の人とも触れ合える、そんなのをあえて創っていく、そういうことを考えておるところです。そのためには、一定の集団ってというのが必要になってくる。子供が減ってきてる中で、校区は広くなるけれども、そここのところのリスクは少しでも軽減させる中で、その環境をつくれなかなと思ってる提案させてもらってる。その辺りは、本当にこれから、どんな子供になっていく、育てていくために、地域の人達はこういうことができますよ、学校ではこういうことができますよというようなことを話し合いする場も中学校区ごとで持っていたり、学校運営協議会といったコミュニティスクールをそれぞれの学校で作ったりしながら、本当にいろんな人に支えられて、今、学校教育が成り立っているというふうなそんなやり方をしてるのが橋本市の教育です。今言っていたご意見というの、これからの学校づくりの中で、ぜひ、ご意見としていただけたらなとそんなふうに思います。それから、先ほど言ってくれたお母さんの思いもすごくわかるんです。ここではちょっとすぐお答えは、先ほど部長からの話もあつたようにお答えできませんけれども、そういったこともやっぱり私たちとしては、考えていかなければならない要素としてしっかり承らしてもらいたいと思います。ありがとうございます。

7. いろいろご説明ありがとうございました。境原小学校に今1年生で息子が通ってます。こども園にも2人お世話になっています。多分、境原小学校は伝統的な行事も多くて、小学校の説明会のときも荒れてたイメージなんですけども。私もちょっと、教育委員会の方にもお電話させていただいたんですけども、支援学級のクラスを利用してる子たちに対しての対応の説明が薄い、内容がまとまっていないのはすごく感じてます。うちの子達は、ちょっと発達に問題ある子たちで、こども園でも先生方にご苦勞をかけながら、先生たちに支えてもらって何とかやってるような形なんです。スクールバスに関して支援の子たちがおとなしくバスに座れるかとか、同乗していただける大人の方がいらっしゃるのかとか、正直その辺りも不安です。境原小だと1クラスで、すみだこども園だった子が半数ぐらい一緒の子たちがいるんです。なので、発表会のときもお友達がうちの子の特性も理解してくださって、一緒に発表会、特活とか、苦手なところも取り組めるような状況です。城山小に行くとなり行った先で多人数になったとき、また不登校になるリスクとか、下の子に至っては、体操服を着るのが1年ぐらいかかってやっと着れるようになったりとか、そういう発達の問題のある子たちに対しての具体的な対策をもう少し明確化していただきたいなと思っています。境原小学校にも、診断はついてなくても、ご苦勞されてるお母さん方や子供さんとか、たくさんいらっしゃいます。そういう方が、合併すること自体が悪いとは思わないんですけども、その先に、いつも慣れている先生がいるかどうか。お友達が紀ノ光

台の子がほとんどなので、正直、城山小に行くのにかなり不安があります。

その選択制というの、今、一般的には言われてる学区というのに囚われていってしまうと、うちの子たちは不登校になるんじゃないかなって正直思ってます。そういう子たちは支援学校に行けばいいのかと聞かれると、そこまで、ちょっとしたフォローや声かけがあれば入れる子なのに、普通の学校に通うこともできないのかなってちょっと不安に思ってます。ちょうど、時期もお兄ちゃんが卒業できるんですけど、下2人の子がどうなるか、ちょっと正直、読めない中、時期だけポンって決められて途中で転校という形になるので、その辺りもちょっと不安です。あと、支援クラスを持ってる先生方の支援体制です。ちょっと学校とかに、よく面談とかスクールカウンセリングとか行かしていただいているんですけど、やっぱり、ちょっと他の子に対しての指導の仕方、こういう子の場合は、ちょっと言い方を変えないといけないんじゃないかなとか。ちょっと、リハビリの仕事もしてるので、子供の発達の勉強もしてるのもあるので、余計尚更ちょっと思うところがあったりとかします。吹田市の公立学校でモデルケースになってるような学校もあるので、なんかそういう支援の担当になる先生方に、そういうところに教育としての一環として、市から補助を出してもらって勉強に行っていたりとか。統廃合のことももちろん心配なんですけど、ちょっと移った先でのトラブルが、あの子たちのトラブルは思ってる以上に激しいです。

言葉がうまくだせず、自分がされたことも言えないような子たちもたくさんいらっしゃいます。多動的に衝動的に手を出しちゃう子にも必ず理由があって、というところまで掘り下げていけないときもやっぱり多い印象なんです。境原小学校で1学年1クラスで20人ぐらいの学校ですけど、そこですらそうやって心配と思うこともあるのに、先ほどおっしゃってみたいに多人数だからといって、メリットが大きいかっていうのも正直どうなのかと、境原小ぐらいの方があってる子もやっぱりいますし、その辺りとかも、やっぱり支援のいる子に対してをもう少し考えていただきたいなっていうふうに思っています。

バスの送迎に関しては、早急に考えていただけたほうがいいかなあと。ちょっと始まるのであれば、すみだこども園に通わせているので、その選択肢として隅田小を入れていただけたらとか、やっぱりちょっと選択の余地を広げていただけたら、うちの子たちもお友達に支えられて一緒に通えるんじゃないか。やっぱり本人たちも友達と離れたくないと言ってるんです。もうね、紀ノ光台の子がいなくなれば、もう全然違う子らばかりの中に掘り込まれるような形になるので、そういう子たちのことをもう少し、考えていただけたらなと思います。

(教育委員会)

貴重なご意見ありがとうございます。今おっしゃられたこと、本当に大事にせなあかんと思ってます。資料33ページにも書かせてもらってるんですけど、特に支援学級のお子様については、先生同士の情報共有を予めします。やっぱりデリケートなところも非常にありますし、今おっしゃった中で話の言葉の伝え方にしても、やはり心配りして、子供に接せなあかんというところとか、受け入れ側の方は守秘義務のもとで、情報共有していくのが大事だ

と思っています。バスに関しては、乗れるんかというお話もあったと思うんですけど、その辺りも、いろんな方の協力を求める形になるかと思うんですけど、一緒に考えていきたいと思っています。

(教育長)

補足になりますが、やっぱり言葉だけで済まず、また、済むとも思っておりません。全て個別にどう考えるかということが基本にあると思っております。部長からもありましたようにそのあたりは、本当に学校の間の中でどう、どう共有しながら、どう接していくことが、子供にとって大事なのか。そして、それだけではなくて、周りの子たちもどう育てていくかという視点がものすごく大事になってきます。そのあたりの話を統合の準備の段階でしっかりと取り組んでいきたいと思っています。対象の子供だけではなく、周りの子供も一緒に育つ。そして、その周りにおける大人がどう支えていくか、そのあたりを総合して考えていきたいと思います。

8. 境原小の件、何か再編の毛色がちょっと違うかなあとと思っています。前の説明のとき、令和9年だったのが14年になっている。前の説明のときには危険箇所のハード対策は考えてないみたいな感じで言ったのが、擁壁ができるようになるのは、今回初めて知ったんです。何で前のときは考えてないのに、何か予算の都合とかでできないって言ったのが、急にできるようになったのかも気になります。境原小に関しては、西部小とそんなに人数変わらないと思うんですけど、それでもやっぱり再編の対象になっているのは、やっぱり通うのが危ないからなのかなと思っています。対策していただいたとしても、その危険なところに通うのが、もっと長くなっただけなのかなと思って。それだったら、もっとちゃんと危なくないように対策していただけたらなと思います。住んでるのが小峰台なんですけど、個人的には、せっかく歩いていけるところに小学校があるのに、遠くに通わせるのも、小学校がせっかくあるからそこに土地買って暮らすようになったのに、その人生設計みたいなのも全部変わってしまうし、小峰台の人からしたら、学校がなくなることで、そのファミリー世帯が引っ越してくるのもなくなってしまふ、資産価値があつたりとか、そういうのを気にされる方もいるかと思うんです。先だつての境原小、今の通える範囲、歩いて帰るような範囲で、もう少し安全なように立て直して、校舎移築したりとかそういうふうには考えられないのかなっていうのと、もし、城山小に行くってなったら、ここにスクールバスなど書いてあるんですけど、1回目の説明会のときには、小峰台からだったら路線バスを使ってもらふことになるっていうふうにお聞きして、路線バスとスクールバスは全然違うかなと思って。小学校1年生の子が路線バス乗って行く、きょうだいがいたら行けるのかもしれないんですけど、境原幼稚園も無くなって、1年生からもう知ってる子とか、その小峰台の一緒に学校に行く子が誰かもわからない状況で、1人でバスに乗って行けるのかなとか、そういう心配もあるんです。本当に子供のことを考えて、もう少しわかりやすく、なぜ1回目の説明のときに、その路線バスにというふうにおっしゃつたのに、なんでここ

に路線バスという言葉が、全く書かれてないのかなというのも気になります。先ほどもあったように、バスに乗れるようにちゃんと、サポートしてくれる人がいるのかとかも、もうちょっと具体的にわかりやすいように説明してほしいです。

(教育委員会)

ちょっと前後しますけども、スクールバス等という表記をさせてもらっているのは、路線バスの通っていないところは、新しく考えるべきなんですけど、路線バスが通ってたら、そちらの方も活用していただくのも含まれてのスクールバス等という表記にさせてもらっております。これから紀見東中学校は7年後になるんで、大幅に延びたんですけども、どうしても細川橋のところが子供さんたちで歩くっていうのが、非常に私たちも懸念するところがあるんです。バス停に関しては、2つが3つになるかもわかりませんが、路線バスをご利用していただくという考え方も一案として持っています。1年生1人だけでバス乗るのはなかなか難しいと思いますんで、どういった乗降の対応をとれるのかというところを、例えば、保護者さんにも協力いただく形になるのかも、これから順に話を詰めていきたいというふうに考えています。

最初の方のおっしゃっていただいた災害対策のことなんですけど、確かに1回目の説明会では災害対策をしないという前提で説明させてもらいました。その中で、皆さんからいろんなご意見いただいたんです。そこで、橋本市としての方針が変わりまして、対策をしないから対策をするという形で、東側斜面のところに、今日説明させていただいたことを、2年がかりで考えていくようになりました。大雨については、警報出てるときの学校運営はしないんですけど、子供たちの危ない状況で学校を開くということとはしません。ただ、対策をしたから大丈夫というわけじゃなく、そういった部分は、子供の安全をまず第1に考えていくことは確かです。土砂災害に関しては、一定の策を講じるっていうことで変わったっていうことと、危ない状況になったときは学校の運営自体も考えていくということで、その安全性は守っていききたいと思っています。ちょっとややこしい話になって申し訳ないんですけども、前回と今回と、境原小学校の対応については、市の方針転換があったんで、大幅に時期が延びた形になるっていうところをご理解いただけたらありがたいです。

家を買われたっていうところは他の説明会でもいただいています。本当に、若い方が不動産購入されるときは、子供さんが小学校へ通う距離のことを考えて購入されるというのが、やっぱり皆さんやと思うんです。その中で、学校の場所が途中で変わることになったら、そういったお話は多数いただいています。そこは申し訳ないんですけども、これからの子供というところに重きを置いて考えてもらえたらなと思います。

9. 子供が境原小学校に行くと思ってたんで、本当に10人前後ぐらいのクラスだろうなあと思って、ちょっと人数の多い園より紀見保育園の方が人数少なくて、小学校に上がったもちょうどいいぐらいの人数かなあと思って行かせてたんです。1年生が35人とと言われて、子供は、「急に人めっちゃ増えるやん」と、すごい不安になってるんですけど。2学級

がいいんだとしたら35人ぐらいいたら、17人と18人でも十分なのかなと思うんです。そういうふうに調整できないんですか。

(教育長)

学級編制基準が決められています。昔は45人学級であって、その次40人学級になって、現在は、小学校はすべて35人までが1つの学級で、36人になったら2つの学級というふうに決められています。だから、20人であっても30人であっても35人であっても1つの学級になってしまうんですね。ここが基準となっています。ただ、それを2つにできないんかっていうことなんです。配置された職員の中で、そういうふうにしていくことも可能なんです。職員の数というのは、学級の数によって何人配置しますってのは決まっています。例えば、6学級だったら7人しか配置されないんです。校長とか事務は除きますが、教頭も含めて7人ということは、教頭は担任を持ちませんから担任1人ずつしか配置されないんです。その中で、2つに分けることができるかと言ったらできない。ただ、橋本市としたら、そこところは手厚くしたいという思いがありまして、市独自で先生、非常勤の講師だとか支援員の人たちを雇い上げをして、多くの子供たち見てもらわなあかんようなところについては、応援で行けるような形で人を配置したりしています。これについては、校長がこういう状況なのでこういう教育をしたい。そのために1人支援してもらえませんかというような要望が上がってきて、それを受けて、市教育委員会として配置するようになっています。だから、そこは本当に手厚くしていきたいと思っています。特に、下の学年であればあるほど、そこは大事にしていきたいという思いで取り組んできております。境原小は来年35人なんですよね、現在のところね。だから、そのあたりはしっかりサポートしていただける状況を学校とともに作っていきたいと思います。

10-1. 皆様いろいろと真摯にご検討いただいていることは伝わってくるころではあります。ただ申し訳ないですけど、前回の説明会のときに、令和11年度に柱本小学校と三石小学校を統合するっていう話、これだともう少し早くしたほうがいいんじゃないかと、お話ししていただいていたんですけども、それを受けての結果が変更なしということなので、まず個人的にはとても残念に思っております。なぜ、今日の説明を伺って、また感じることもなんですけれども、教育委員会さんとしては、資料12ページ、橋本市教育委員会が考える望ましい学校規模の方針で、小学校は1学年2学級以上と挙げられておりますけれども、これ例えば、柱本小学校区では来年10名ということで、1学年1学級しかつくれなくて、そのまま1学年で6年間過ごしてしまうと。一方で、三石小学校は、人数がいるから問題ないんじゃないかと一旦思われるんですけど、今、みついしこども園に通っておりまして、三石小学校の話を聞いてますと、三石小学校の方でも30何人、35人ぐらいで1学年、要は2クラスに分けるんじゃないかと1クラスのままでということを知っていて、これだと柱本小学校区でも6年間ずっと1クラス、三石小学校の方でも1クラスということ、ずっと1クラスのままで6年間過ごしてしまうことになっちゃうって考えられるんですよ。そうし

た場合に、望ましい学校規模の方針というところが達成できないのではないかというところがあって、これを達成ということを考えていくのであれば、そんな令和11年とか5年後とかといってるんじゃないで、もう来年はさすがに難しいでしょうから、再来年とか、1年あれば検討はできて、2年目で動けると思いますので、例えば3年後とかというスパンで考えて、そのスピード感を上げて考えていかなきゃいけないはずだと感じてるんです。その点に関して、もう一度ご検討、何とかいただけないでしょうか。1人の親としてのお願いではあるんですけども、よろしくをお願いします。

(教育委員会)

ご意見ありがとうございます。前後しますけども、1クラスの人数というのは小学校では35名で、35名まででしたら1クラスになってしまうんです。それが36名になったら、2クラスに分かれるんですけど、どうしてもその35名というのがありまして、そこを独断で分けるのができません。前回の説明会のときにもっと前倒しできないのかという話をいただいたと思うんですけど、実はこの2期方針自体を見直してありまして、見直しの最終案を説明させてもらっております。この方針が、最初のページにあったんですけども、昨年4月に方針を定められていけば、もう一年早かったんですけど、今回見直す形になりまして、我々が方針を決定してから1年ちょっとずれる形になったんです。それで橋本市としての計画としても1年ずれる形にはなるんですけど、すべて1年ずらしておきますと、今おっしゃられたように柱本小学校も11年という目標が、12年になってしまうんですけど、出生数を見させていただくと、そのままずらすことはできないと。私らとしては、やはり一定の人数を確保しようと思ったら1年延ばすのではなくて、早めることはできませんでしたが、方針をそのまま置かせてもらってるっていう状況なんです。

10-2. 要は事務手続きで1年遅れたけれども、統合の時期はそのまま11年ということですね。

(教育委員会)

どうしても学校再編の場合は、新しい学校を作っていくという観点になるんで、例えば、学校名であったり、校歌であったり、今は三石小学校で場所を考えてますけど、そういったのもいろいろ考える形になるんです。この辺りを統合準備会という中で積み上げが出てきて、やはり最低2、3年はかかるかなと思っています。だけど、1年ずらすとなったら、どうしても柱本小学校区の子供たちの生まれてくる数が限られますので、この当初の再編の目標の11年というのは置いといたっていう実情で、早めることはできなかったんですけど、そこは1年短縮みたいな形でお考えいただけたら非常にありがたいです。

10-3. 1年間短縮ということで、すごい努力いただいたことは伝わって参りました。そこはありがとうございますというところなんですけども、今のページの再編統合のところ、校歌とかを新しく考えるのに3年ぐらいかかるという話をいただきましたけど、そ

れ必要なのかと感じました。例えば、別に三石小学校は、もうそのまま三石小学校として存在しているので、私、柱本小学校出身ですけど、別に完全に廃止ということで、三石小学校に編入という形を考えていただければ、そういう余計な事務手続きというところを正直必要ないので、もっと早く場所も建屋も余ってるし、もっと早く行動できるんじゃないかなと、こういうの何なんだろうっていうところは正直感じられます。

(教育委員会)

統合準備会そのものは2年ぐらいなんですけど、全体考えて年度をまたぐとなったら、大体3年という形でご理解いただきたいんです。統合準備会2、3年少しかなくて思うんですけど、例えば、学校は4月から新しい学校開校していくんで、そうなったら概ね2、3年は期間必要だなんていうことを考えてます。おっしゃられたのは、学校名も校歌もそのまま、制服もそのまま、柱本小もそのまま右にならえて三石小にしたら早くなるんじゃないかっていうお話ですか。

それは、やっぱりいろんな考え方がありますんで、私らとしては、そうですねと言えません。やっぱりその柱本小の伝統もあるし、やっぱりそのいろんな意見が出てくると思いますので、統合準備会で約2年かけて準備していきたいと考えています。

10-4. 思いがあるってのは重々、僕の出身校ですので理解できる部分はあるんですけども、一番大事なのって子供たちだと思うんですよ。大人とか、周りの政治とかもいろいろうるさい話聞こえてきますけど。そうじゃなくて、子供たちにとって何が一番大事かと言ったときに、子供たちが同じクラスで6年間ずっと過ごしてて、それが10年後20年後の子供たちにとって本当にいいことなのか、そこだと思うんですよ。例えば、やっぱり子供たちの人生は、絶対その小学校、中学校で終わりじゃなくて、高校、大学、社会人になってどうやって人生を設計し形成していくかというところも考えたときに、やっぱり多くの人とできるだけ多くの同級生が、いろんな道を進んでいくのを見ながら、じゃあ僕もこの道進むことを決める、決めれる環境。そういう自分が思うことだけじゃなくて周りを見たときに、そういうことが学べるような場所が一番大事なのかなということが持論ではあるんです。そこを考えたときに、確か柱本小学校、有名な方に校歌を作曲いただいていますよね。でも、そういったことって、卒業生ですけど、正直あんまり子供たちには関係がない。その実際、社会人になって子供が生まれてということ考えたときに、それはそれでいいことかもしれないけども、結局選べるんだったらいいんですけど、でも、もう今選べなくなってきたんで、その子供たちがどんどん減ってきたときに、何に集中するかを選んで、逆に何を捨てるか、切り捨てるか。言い方ちょっと強いですけども、というところもやっぱり考えていかなきゃいけない時期に来てるというふうに思います。だから、申し訳ないけど、来年から私の息子は柱本小学校に通います。あそこは良いと思うんですけど、でもやっぱり5年6年もずっと同じところに行ってしまうのは。やっぱりずっとこの環境のまま大人になっても続くのかなというふうになってきたときに、今だとさっきのITの話もそうです

けど、例えば外国の方も、どんどん日本に入ってきてる状況の中で、じゃあ本当にいろんな人とうまくやっていけるのか。そういったところっていうのも、やっぱり総合的に考えていかなきゃいけない時期に日本はきてますんで、だから、今一度、そこも踏まえて、何が子供たちにとって一番必要なのか大切なかっていうところを残す。やっぱり、ここはもう諦めなきゃいけないという部分も絶対あると思うんで、それも今一度ちょっと、こう考えていただければと切に思ってますのでどうかよろしくお願いします。

(教育長)

子供を中心に、今の子供たちにもできるだけ恩恵を受けられるように、そして未来の子供たちにも恩恵を受けられるような、そんな周りの大人であるべきではないかなって、そういう意見をいただいたと思っております。私たち自身も中心に置いてるのは子供です。子供たちの今の教育環境をどういう形にすることが、これから子供たちが求められる力をつけていける環境になるのかということを中心にしながら、今の再編の取組をやっていきます。柱本小学校の子供たちの数の話を出しながら説明いただいたんですけども、それ以上にやっぱり少ない学校もあります。やっぱりその子供たちのことを考えれば、できるだけ大勢の中で学べる、そして切磋琢磨できる、私たちが目標に掲げてる子供像に近づける、そんな取組にしていきたいという思いを持っております。それにできるだけ合意形成をどう取っていくか、また事務手続きをどう進めていくかということで、一旦3年、再編の取組から見ると、一定3年ぐらいかかるのが今までの経過なんですね。先ほど提案いただいたような内容で合意形成が本当に早く済んで進められたら、もう少し短くなる可能性もあるんですけども、一定の目標は、できるだけ確実に進められるというところで提案させてもらってるところです。ご意見として、今日はいただきましたので、どうもありがとうございます。

(教育委員)

ご意見ありがとうございます。私自身、いろいろ聞かしてもらって考える中で、地域のコミュニティで育つ子供たちというのもあると思うし、いまのお子さんたちの教育環境が変わることもあるので、交通の便であったり、通学の安全であったり、確実にいろんなことが子供たちに負担なくできるように、いろいろ考えての年数なのかなあというふうには思ってるんです。ご意見聞かせてもらったので、それもどこか頭の片隅に置かせていただきたいと思えます。

10-5. いろいろとスタートというところで、こっちも感謝するところではあるんですけど、今一度お伝えしたいと思うのは、やっぱり皆さんの立場上、すべての意見を多分どこかで拾い上げなければいけない、何かこう使命感みたいなものをやっぱりどこかで持っていらっしゃるのかなっていうのをちょっと感じるんですよ。でも、その姿勢ってすごく大事ではあるんですけども、それよりも、例えば、何が一番大事なのかというところを持っていただきたいなというところなんですよ。例えば、本当に子供たちにとって、合併して通うことが一番大事なのであれば、今のバスの話とか、在校生の話とか、そういったとこ

ろってというのは、大人がちゃんと理念を持って、主体性を持って伝えていければ多分わかって、ちょっとさすがに負担になる部分というのはどっかであるとは思いますが、でも、やっぱり必要なんだからやろうと言ったら、よっしゃ、じゃあやろうとなっていくと思うんですよね。だから、いろいろ細かいことは、やっぱり気になっちゃうし、捨っていかなきゃいけない部分あるかもしれないですけど、やっぱそれよりも一番大事なところ、やっぱり子供たちのためにというところを、今一度こう持っていただければ、すごく親としても助かりますのでぜひよろしくお願いします。

10-6. 資料40ページで、今回の合併の話とはあまり直接関係ないのかもしれないですけど、転出超過の抑制を掲げていらっしゃるんですけど、これは私自身の経験でもそうなんですけど、結局、小学校、中学校、高校と地域で学んで、じゃあ次、大学どうしましょうかと言ったときに、大学ないんですよね、橋本の近辺に。そうすると、どうしても遠方に行かざるをえなくて、そうすると僕の場合はこっち戻ってきましたけど、やっぱ戻ってこなければ、今までいろいろ教育してきたけれども、結局どこかの町の人口になってしまうというふうになってきたら、やっぱり、そこを防いでいかないといけないと思います。ちょっと管轄外かもしれないですけど、大学とか専門学校とか、もうそのまま学校の教育が終わって就職、橋本市で働ける環境を作っていないと、作っていきけるような道をやっていないと、転出超過が減っていかないのかなというのを思いますので、小耳に挟んどいていただければ幸いです。

(教育委員会)

確かに進学ですとか、就職を機に橋本市を離れられてる方が、かなり多いような状況になってます。そちらに向けて企業誘致も進めておりますし、なかなか大学は難しいところもあるんですけども、企業誘致は進めておまして、また将来的に戻ってきてもらえるような形でシティプロモーションもやっておりますので、ちょっと息の長い取組になるかと思っておりますけども、そういったことが、実を結ばばいいかなと思って取り組んでおります。

11-1. 高野口中学校区なんですけれども、ちょっと興味もあって教えていただきたいんですが、前回の説明のときも高野口小と応其小は合併しませんという説明でだと思うんです。ただ推移を見てると、もう令和9年になってくると、半数以上は1学年1クラスになってるのかなあというふうには思います。ただ人数を見るとまだ200何人とか結構人数はいるように思うんですけど、合併すると考えたときに3年ぐらいはかかる話も先ほどあったと思うんですけども、今の時点でそういう何か予定とかを考えられてないのかなというのをちょっとお伺いしたいなと思いました。

(教育委員会)

資料28ページに高野口中学校区の再編方針の推移をあげさせてもらってるんですけど、今回は2期方針ということで、10年スパンで再編の形でさせてもらってるんです。今回の

2期に関しては、高野口中学校区に関しては、人数が少なくなっているんですけども、そこで再編というところまでは方針を持っていないところでございます。

11-2. あんまり知らないんですけど、他のところよりかはまだ多いっていう感じなんですか。人数的に言うと他の校区よりまだ多いからですか。

(教育委員会)

資料28ページの表ではこういった形で推移をしております、減っていく傾向にはあるのはあるんですけども、大きく減ってるような状況にはなっていないと考えております。先ほど申しましたように10年後ぐらいに、人口の状況とか見させていただいて、どうしていかうかということをもた考え出していくという形になります。

12. その外国人の対応はどうされてるんでしょうか。先ほど、学校の歴史とか教育理念とか、やっぱりそういうのも大事だということで考えていらっしゃる。やっぱ、それも必要なことであると思うんですけど、みんな日本人だからこそ、伝わっている部分があると思うんです。そこで、外国の方、日本の文化を全く共有できてない方々がいらっしゃったときに、もう先生方のリソース、要は手が空いていないというふうな状態になったら、もう破綻すると思うんですよ。でもそうするとやっぱり理念も、もう何もなくなってきてしまうと思います。外国人、あんまりいらいらっしゃらないんだらうなっていうのは思うんですけど、将来的に間違いなく増えてくるということを考えたときに、教育委員会さんとしては、どういう対応を考えてらっしゃるのかなというのちょっと気になったので一応教えていただけると幸いです。

(教育委員会)

外国の方は、現在徐々に増えてきております。もちろん帰国子女の子供さんもおられますし、それから外国から就労の関係で勤められている方のお子さんもあります。先ほどもおっしゃられましたけども日本人だからこそできるっていうのがあるんですけども、やっぱり今、学校の授業の中でも、総合的な学習の時間、或いは社会なんかを使って、外国のことも学習する機会というのが学年の中ではあります。それらをとおして、いろいろな文化を知っていくのは、日本の子供たちも必要ですし、また外国から日本にやってきた方も、日本の文化を知るというのはすごい大事なことでとらえています。特に、日本語が苦手というか、ほとんどまだ理解できていない子供さんたちの学びにつきましても、例えば、外国語をできる先生であったり、日本語指導ができる先生を本当に教員が少ない中で探して、いろんな学校に毎日ではないんですけど回っていただいてやっています。それから、翻訳のソフトがあったりしますので、そういうソフトを教育委員会の方で調達をしまして、それを学校に配置して、それぞれの先生が使っているというような形で、この外国から来た子供たちも、きちっと勉強できるように、また生活なんかもきちっと過ごせるように配慮しているというところなんです。これからも、そういうことが増えてくるのが考えられますので、教育委員会と

それから市長部局の各課とも連携しまして、人口の推移、それから外国人の方の推移なんかも調べながら、対応していこうということで調整しているところです。

(教育長)

それと、少し補足なんですけれども、これは橋本市立の学校だけではなくて、県立でもそういったところをカバーしてくれる学びの場があったりします。だから大人もそういうところで、外国から来た人が学べるような場を提供したり、サポートをしてくれてるところもあつたりします。これからどれだけの数が増えていくかによって、それが機能し、どこまでしていくか、これ以上のことに取り組んでいかなあかんようになるかっていうのはまだ見えていないんですけれども、いろんなところと連携しながら、そのところは本当にサポートしているところです。そういう学びの場もあることも知っただけだと思いました。

説明会に出席していただいた保護者の皆様から意見書に記入いただいた意見、並びに欠席された方から提出いただいた意見の内容です。

なお、返答を希望している意見に対しては回答を記載しました。

13. (二次元コード)

恋野小学校区、令和8年度入学児童に該当します。令和9年度入学児童から恋野小 or 隅田小選択制で令和8年度入学児童は選択制になっていません。令和8年度入学児童から選択制にして下さい。再編統合により学校が変われば新校舎や新しい集団・環境への適応に対して、精神的負担が大きい事は目に見えています。馴染めない等、不登校の原因にもなりかねません。資料33ページ再編統合前に児童・保護者が不安を感じていることも想定できるので、児童や保護者のメンタルケアを計画的に実施します。とありますが、こうなる前に令和8年度入学児童を選択制にして下さい。該当児童本人も隅田小への入学を強く希望しています。嬉しいはずの子供の小学校入学、晴れ姿なのに選択制でない事が今から不安で夜も眠れません。令和8年度入学の対象児童は女子4人です。保護者間でも話し合いました。少人数では多様な考え方に接する機会が限られ、人間関係で逃げ場がなかったり、集団の学び合いによる「豊かな学力」や「向上心」が育ちにくいです。子供たちは何より互いに対立も体験し和解しながら社会性を育てなくてはならないのに、小規模学校ではそうした教育が容易でないと知り合いの校長先生からも聞きました。説明会で聞いた、資料8ページにある橋本市が目指す子供像に当てはまらないと思います。子供たちの為を思った再編統合であるなら、まずは該当児童の声に1番に寄り添っていただきたいです。なぜ数年後になくなるグループ学習も出来ない恋野小学校に2年間通って、途中からほぼ同じ距離にある隅田小学校に行かなくてはいけないのでしょうか？

説明会で、資料43ページ今回の説明会を受けて方針の変更決定し策定までの期間があるので11月の就学児前検診に令和8年度入学児童を選択制にする事が間に合わないと言われました。令和8年度入学まで13か月あります。対応をよろしくお願い申し上げます。再編統合の対象校は、各区において、対象の人数も違えば状況も違うと思います。それぞれの学校区ごとの状況に合わせて柔軟に対応していただきたい。未来ある子供の人生がかかっています。どうぞよろしくお願いいたします。選択制になった場合、再編統合までの期間は保護者送迎します。再編統合後のバスルートですが、恋野小前の県道だけでなく、恋野橋から直進して夢あじさいから恋野公民館を通るルートにしたいです。恋野地区では大型の鹿や猪の目撃情報も多く、最近では猿も出ました。隣の須河地区ではこの数年でツキノワグマの捕獲もされております。児童の安全の為によりしくお願いいたします。

(教育委員会)

再編統合前の学校選択については、この説明会で、再編統合1年前の新入生やその在校生のきょうだいについて、統合先の学校への入学を選択できるよう検討していると説明させ

ていただきました。

隅田中学校区においては、令和10年度を目標に再編統合を進めているため、令和9年度の恋野小学校の新入生等について、隅田小学校への入学を選択できるよう検討しています。ご質問のように、再編統合の2年前の令和8年度から統合先の学校への入学を選択できるようにすることについては、現時点では考えていません。

ただし、対象児童の保護者の皆様からの要望がある場合は、丁寧に対話していく必要があると考えています。

14. (二次元コード)

令和8年度入学を選択制にして頂けたら送り迎えは両親でおこないます。廃校後はバス通学と聞きましたが、恋野は意外と広いです。そして人通りも少ないです。このご時世、不審者などや動物も危険です。なので、バスでのお迎えは広い道でぐるり回る形でお願いしたいです。基本的、橋本市は動いてもらえるまでかなり遅いです。何十年たってやっとの恋野橋の信号ですし…。ただの意見交換だけで済ますのではなく、早急にまとめて頂けたら嬉しく思います。

15. (二次元コード)

特にありません。

16. (二次元コード)

【小中学校の登下校スクールバスの運行をお願いします】統廃合の影響で多くの保護者が心配しているのは、現状でも適切に安全管理がなされていない危険箇所を含む長距離の通学路を、子供たちが徒歩で通学せざるを得なくなる現実だと思います。(橋本市は統合以前より校区が広域なのにもかかわらず、通学路の安全が確保されていない部分がまだまだ多く見受けられます)つきましては、希望者は全員が登下校時にスクールバスを利用できるようにすれば、多くの保護者は安心するのではないのでしょうか。小中学校におけるスクールバスの運行について、是非とも早期の実現をお願いしたいです。

17. (二次元コード)

今年度入学の境原小新一年生の人数は35名です。ギリギリ1クラスで、1人でも増えたら2クラスにできるはずですが、教室数が無いと聞いております。紀ノ光台の子供が増えているので、これからも一クラスでは足りない事があるのではないのでしょうか？隅田小学校なら教室も余っていると思います。紀ノ光台は距離的にも隅田小と境原小の間なので隅田小に行かせたい保護者も多いです。今年度にも選択制の決定をしていただけないでしょうか。

18. (二次元コード)

基本的に統廃合は反対です。河南地域には一つも小学校がなくなり、住宅街の中にある境原小、柱本小がなくなれば、小学校が近くにないという理由で子供がいる若い世代が橋本市に転入してこないと思います。少子化なので子供が減少していくのは分かりきっています。ですが、減らすのに合わせるのではなく、長い目で今いる子供たちが、地元に戻って自身が行っていた学校に子供を通わせたいと思わせる小規模でも魅力ある学校を残すのがいいのではないのでしょうか？私自身、小学校時代は1クラスでした。経験として中学からクラス数が増えるので小学校の間に2クラス以上である方が良いとは特に思いません。小学校の間でしか小規模の学校で学べる機会がないと思っています。大規模な学校もあれば小規模の学校もある、これも多様性かと思えます。ICTの活用とあるように、リモートワークが進んできたこの世の中、同じ中学校区の子たちとリモートなどで発表して交流するなどでき、多様な考え方は色々な方法で伸ばすことが出来ると思います。また、私が子供の頃よりも倍以上に支援学級の子供たちが増えていると感じています。手厚い支援が必要なのに、統廃合で人数が増え先生方の負担も増えると思います。先生の負担だけではなく、親も不安を感じる方々もいらっしやると思えます。紀ノ光台在住ですが、5歳の息子と境原小学校まで歩いたことがあります。1時間ほどかかりました。夏場は異常気象で35℃を超える日が多い中、ランドセル(小学校低学年で平均4キロ)を背負い、毎日登校するのは大変です。大人でも同じ条件で通勤出来るのかと聞かれると難しいと答える方が多いかと思えます。自分たちの頃は徒歩圏内に幼稚園があり、大きくなるにつれて徐々に登園距離がのびていましたが、今は保育園も車で送り迎えの子供たちが多く、体力面に昔との差が大きいと思います。スクールバスを出さなくても紀ノ光台から小峰台中まで南海の路線バスが通っています。全額出さなくてもバス定期の一部補助でも皆さん助かると思います。

19. (二次元コード)

統廃合については少子化のため、地元の小学校が無くなるのは寂しいですが納得します。しかし、そうなった場合、子供は橋本小学校に通うこととなります。小学生の服装を見てみると、令和の時代、真冬に半袖半ズボン、スカート。震えながら登校している姿は虐待かと思うほど可哀想です。今息子が通っている清水小学校は、服装が自由なので暖かいズボン、暖かい上着で通わせていますが、次の娘たちが小学生になった場合、もしそのままの制服かと思うとゾッとします。昭和の時代に作られた校則、決まりは更新していくべきです。反対意見があるのであれば、反対の方も是非真冬に半袖半ズボンでお過ごし下さい。

20. (二次元コード)

統合について、学文路小学校は本当に人数が少ないです。これから、6年間たくさんの行事があると思いますが数人のクラスで大丈夫なのか心配です。運動会、遠足、発表会等数人のクラスで、今後子供たちも思い出として小学校生活が楽しかったと言えるのか不安です。

私たちが小学校で学んできた集団生活やたくさんのお友達との思い出も、自分の子供に経験してもらえないと思うととても寂しいです。橋本小学校との統合前に清水小学校との統合検討もありましたが、子供たちもお友達が増える事にとっても喜んでいました。なのに、再検討で結局統合が先延ばしにされ小学校の間に統合する案が無くなっ事に親子ともショックを受けています。学文路小学校と清水小学校の生徒の人数は前々から少なかったのに、なぜ早く統合しないのですか？今回もまた先延ばしにされ、もっと早く統合するべきだと思います。人数が少なすぎて、学文路小学校の運動会も全然楽しくなかったです。小学校でたくさんのお友達が作れないと思うと小学校へのワクワク感も薄れます。毎日、数人のお友達との学校生活に何か行事をするのも小規模の内容で、親としても6年間こんなに少ない人数で過ごして行くと思うと意欲も湧かないです。統合の期間を出来るだけ早めて頂きたいです。再再検討を求めます。

2 1. (二次元コード)

紀ノ光台、今すぐにでも小学校選択出来るようにしてほしいです。

2 2. (二次元コード)

説明会の日程が非常に急過ぎる、もう少し余裕をもった案内はできないのか？

2 3. (二次元コード)

少子化なのはわかりますが、柱本に柱本幼稚園を建て直し、こども園を作ったのはなぜですか？小学校が無くなるのであれば必要なかったのではないか？せっかく岡潔の展示スペースまで作ったのに、柱本小をなくしてしまうのはなぜですか？三石小に統合する利点を教えていただきたいです。何を大事にして、何を切り捨てるのか、市のお考えをお聞きしたいです。

(教育委員会)

学校の適正規模・適正配置の取組は、学校の規模を確保し、多様な人間関係や考えに触れる機会を増やすことができます。また、少子化により学校の小規模化が進む中、子供たちの多様な教育的ニーズに対応できるより良い学習環境を整えたいと考えています。

紀見北中学校区では、柱本小学校と三石小学校の再編統合を進めていますが、再編統合後の学校の場所については、必要な教室数や、再編統合後の児童の通学条件の面を考慮し、学校の場所は三石小学校を考えています。なお、再編時期や学校の場所等は、令和7年12月以降に市としての最終決定を行う予定です。

紀見北中学校区を含め、各中学校区では、幼保小中の連携のもと子育て施策に取り組んでいるところであり、小学校の再編統合後も、中学校区単位での幼保小中の連携のもと、引き続き、子育て施策に取り組んでいきます。

24. (二次元コード)

人数の推移から見て境原小学校に関しては、少子化対策に向けての再編統合に現段階で含まれるのはおかしいと思う。災害対策は別物として考えるべきです。今も通っている子供たちがいるので、今すぐ安心・安全に通える学校にしてください。少子化は1日、2日で激変するわけではありませんが、災害はいつ何が起こるかわかりません。大雨などある程度予測できる事象には現状のソフト対策で凌げるかもしれませんが、地震など突発的な場合は対応できないと思います。擁壁を作るだけでは不十分なのになぜ再編統合時期が5年延びたのか、5年の根拠は何なのか。安全に通えない学校には1日でも通わせたくはありません。子供たちのことを第一に考えるなら1日でも早くもっとより良い災害対策を講じてください。子供たちの命を守ってください。よろしくお願いします。

25. (二次元コード)

説明会で質問したところ、再編統合までの期間に、対象校間の交流を実施と説明会でもお話して下さっていたが、いつから、どんな内容にするのか、この内容はいつ知らせてくれるのか？が知りたいです。また、年に数回程度の交流ではなく、日常的に行われるものを希望しています。日常的にすることで、クラスの考え方をまずは、学文路小と清水小が一緒にして、少しでも多くの児童の集団になっていくと、子供にも先生にもいいのではないかなと思います。

(教育委員会)

再編統合前の学校間交流については、児童生徒への配慮として実施していく必要があります。実際に各学校で行う学校間交流の具体的な内容については、再編対象校における各学校の規模や教育内容、年間行事なども踏まえ、検討する必要があります。このため、教育委員会だけでなく、再編統合の対象となっている学校間での話し合いにより、具体的な学校間交流の内容の検討を行っていくことになります。

現段階では、学校間交流の開始時期や内容、保護者への周知の時期などの具体的な内容をお示しすることはできませんが、再編統合の準備が進んでいく段階で保護者の皆様には情報をお示しいていきます。

26. (二次元コード)

たったの十数人しか恋野小学校から隅田小学校に行く生徒がいないのに、なぜ学校名も校歌も変えないといけないのですか？恋野はこれからも子供の人数は増えません。変えないといけないのは学校名や、校歌ではなく、どうやって未来ある子供を増やすかです。学校名や校歌を変えて、子供たちは何がかかわるのですか？何か良くなることはあるのですか？学校名、校歌を考える膨大な時間をとるより、恋野小学校の令和8年度入学の子供はたったの4人です。その4人を選択制にするという書類を作ってほしいです。早急に決めてほ

しいです。対象の保護者、子供の気持ちを考えてあげてほしいです。何のための意見交換会だったのか、意味のある意見交換会だったことを願っています。橋本市の教育委員会に期待しています。

27. (二次元コード)

本日午前中に参加させていただき、期間の見直しや、統合先の理由について理解できました。お伝えしたとおり再編統廃合については、前向きに捉えております。担当の方々は調整等が大変だとは思いますが、子供のためにご尽力いただきありがとうございます。教育委員会として、子供の最善を第一に考えたいいただき、今後ともよろしく願います。

スクールバスについて、やはり気になりましたので改めてこちらから質問させていただきたいと思います。HPにおいてご回答いただけるということですのでお忙しいとこ恐縮ですがよろしく願います。今回、スクールバス等の運用が再編統廃合に係る学校だけが対象ということの理由を改めてお伺いさせていただきます。再編統廃合の対象校だけがというのは、保護者に理解を求めるためではないでしょうか？主語を子供として考え、子供の負担軽減を理由とするのであれば、スクールバス等の運用は、対象校にかかわらず、市内全域で行うべきであると考えます。議会で答弁されたということですが、対象校以外の市民も納得できる答弁であったのかご教示いただきたく併せてご回答いただきたいです。

(議会の答弁の記録は確認しておらず申し訳ありません。)

市内の学校全てにおいて、一律に基準を定め、スクールバスなどの運用を行わなければ、将来、不公平感は生じると考えております。例えば、再編統廃合が確定したあとに、他市から橋本市内へ転入されてきた2家族が、一方が対象校でもう一方が対象校以外であった場合説明はどのようになされるのでしょうか？今回の再編統廃合だけを乗り越えるためだけのスクールバス等の運用ではなく、子供のことを考え、一律に保護者の協力を求める距離を定める、もしくは距離に応じて市が補助することを定めることはしないと、再編統廃合を今回乗り越えても将来揉めると感じております。お忙しいと思いますがご回答のほどよろしく願います。

(教育委員会)

本市のスクールバス等については、現在、学校の再編統合に伴う新たな通学の負担をなるべく小さくすることを目的として、小学校2校、中学校1校でスクールバス等の運行を行っています。このため、スクールバス等の対象者については、再編統合により廃校となる学校の児童生徒としてしているところです。したがって、再編統合対象校のうち廃校とならない学校の児童生徒や、再編対象外の学校の児童生徒については対象としていません。

以前からスクールバス等の運行を希望する地域の方から要望もいただいておりますが、この方針に基づき、運行できないことをお伝えしています。また、説明会では対象となっていない学校も検討すべきとの意見もいただいております。子供たちの通学支援においては、今後、

全市的な通学支援の制度を検討する必要もあるかと思われませんが、歩くことや通学路で様々な経験をすることも子供たちの心身の成長には大切な要素と考えられることから、現時点では、距離要件を満たす廃校となる学校の児童生徒を除き、小学校は徒歩による通学を、中学校は徒歩又は自転車による通学を基本としています。ご理解をお願いいたします。

28. (二次元コード)

恋野小学校廃校が決定しているにも関わらず令和8年度入学を恋野小学校に通わせるつもりはありません。入学人数は4人女子。中途半端に3年生で隅田小学校へ行かすと、馴染めないなど子供の人間関係、精神面でも負担をかけます。令和9年度入学される方は選択制と聞きました。令和8年入学をされる子供達も選択制でお願い致します。なお、もし恋野小学校しか選択がなければ2年間は学校に行かせるつもりもありません。それくらいの気持ちです。令和8年度入学予定の4人の保護者とも話をし、2025.2.23日に意見をもって参加させて頂きました。33ページ保護者の不安、児童のメンタルを想定しているのであれば、尚更聞き入れて頂きたいです。13ページ集団で学びあいを大切にっ書いていますが、それに反していますよね？恋野の区長が恋野小学校廃校を反対している。シンボルなんてどうでもいいです。もし我が子が同じ立場ならきっとシンボルなんて口に出してはいないでしょう。そんな事言う前に何故恋野から若者が減っていくのか考えて頂きたいです。なのでその意見が出ている事も区長に分かって頂きたいです。再編統合について、新しい小学校が建って全員で変わるであれば納得はしますが、ただ学校名・校歌が変わるそんな事はどーでもいいです。子供たちには精神的負担をかけたくはありません。結論、令和8年度入学にあたり選択制を希望します。

(教育委員会)

再編統合前の学校選択については、この説明会で、再編統合1年前の新入生やその在校生のきょうだいについて、統合先の学校への入学を選択できるよう検討していると説明させて頂きました。

隅田中学校区においては、令和10年度を目標に再編統合を進めているため、令和9年度の恋野小学校の新入生等について、隅田小学校への入学を選択できるよう検討しています。ご質問のように、再編統合の2年前の令和8年度から統合先の学校への入学を選択できるようにすることについては、現時点では考えていません。

ただし、対象児童の保護者の皆様からの要望がある場合は、丁寧に対話していく必要があると考えています。

29. (当日出席の意見書)

本日も説明ありがとうございました。私たち家族も幼稚園・小学校があるから小峰台を選びました。園の子が減り、1人になってしまうため、仕事を期にすみだこども園へ転園し

ました。転園や転校は、子供たちの負担が多くなります。(特に、うちの子たちは上2人、発達障害があります) 支援がいる子への対応、くれぐれもご検討よろしくお願いします。